

平成 15 年 7 月 31 日 発行

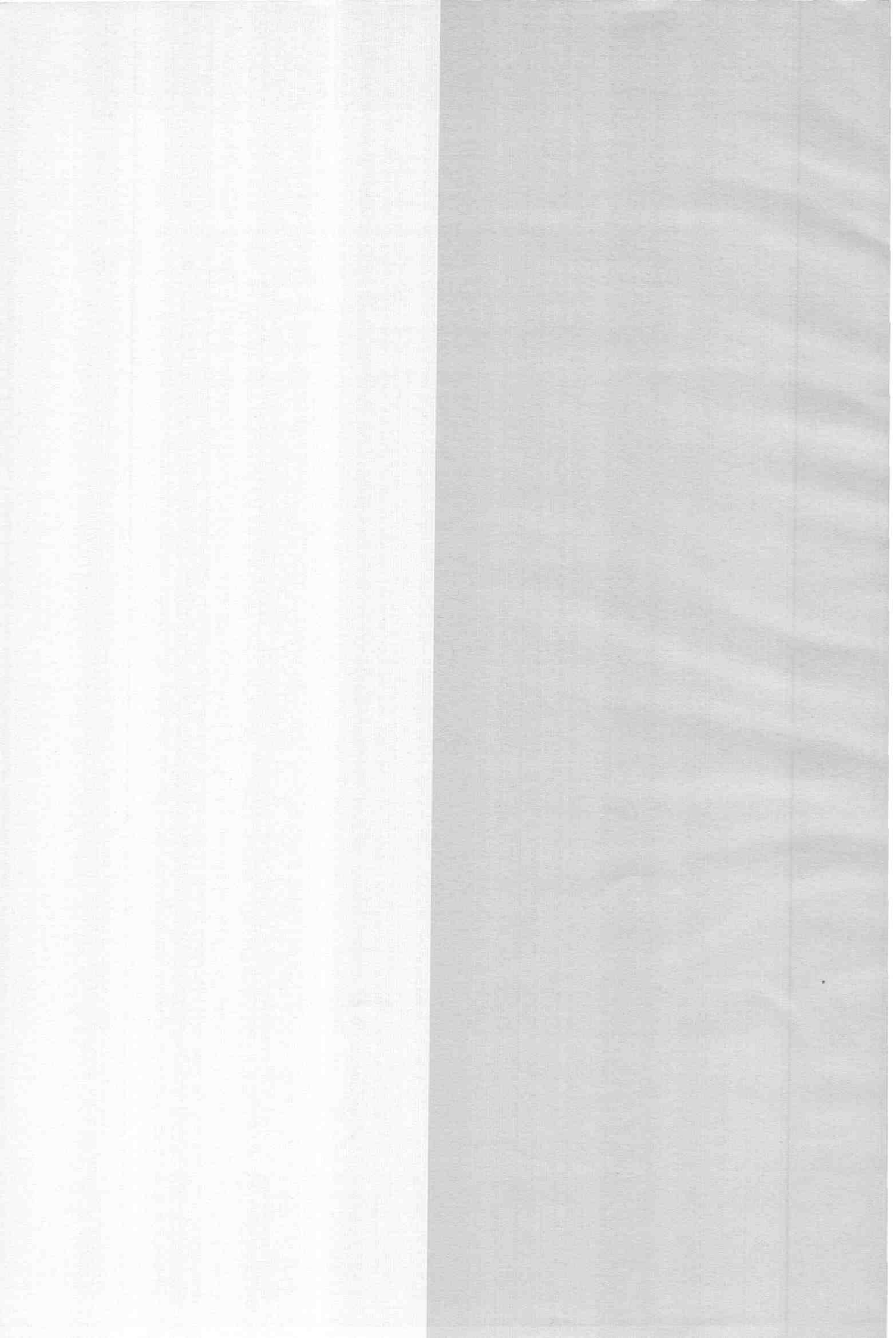
千環協ニュース

主 な 内 容

1. 平成 15 年度（第 27 回）通常総会
2. 平成 15 年度役員紹介
3. 平成 15 年度 合同委員会
4. 理事会報告
5. 活動レポート 第 37 回千環協ゴルフコンペ
6. 活動レポート 平成 15 年度新任者教育講座
7. 千一さんコーナー リオの地球環境サミットスピーチから
8. 特集 水質基準の見直し等について
9. 寄稿 環境計量士と「先生」
10. 会員名簿
編集後記

千葉県環境計量協会

Chiba Prefectural
Environmental Measurement Association



目 次

頁

1. 平成15年度(第27回)通常総会	1
1-1 総会挨拶(会長 津上 昌平)	1
1-2 平成15年度(第27回)通常総会報告	2
1-3 平成15年度事業計画	4
2. 平成15年度役員紹介	5
3. 平成15年度 合同委員会	7
3-1 会長挨拶(会長 津上 昌平)	7
3-2 通達事項-計量証明対象項目の確認について- (会長 津上 昌平)	8
3-3 担当委員一覧及び委員会別活動計画	9
4. 理事会報告	12
5. 活動レポート 第37回千環協ゴルフコンペ	13
第37回千環協ゴルフコンペに優勝して (株)住化分析センター 神野 基行 千環協ゴルフコンペに参加して ((財)千葉県環境財団 小見川 健)	
6. 活動レポート 平成15年度新任者教育講座	16
平成15年度新任者教育講座を終えて(イカリ消毒(株) 柳田 和則) (株)ダイワ 齊藤 由美)	
7. 千一さんコーナー リオの地球環境サミットスピーチから (株)環境管理センター 延満 麻衣)	19
8. 特集 水質基準の見直し等について(クリタ分析センター(株) 熊田 博)	22
9. 寄稿 環境計量士と「先生」 (ガイア・ワイルドライフ・リサーチ 清水 隆行)	26
10. 会員名簿	29
編集後記	巻末

1. 平成15年度（第27回）通常総会（平成14年4月18日）

1-1. 会長挨拶

千葉県環境計量協会
会長 津上 昌平



只今、ご紹介いただきました、当協会の会長を務めさせていただいております、習和産業株式会社の津上昌平と申します。平成15年度、第27回となります通常総会の開会に当り一言ご挨拶申し上げます。

本日はお忙しい中、多数の会員の方々にお集まりいただいております。また、ご来賓としまして、財団法人千葉県薬剤師会検査センター様、千葉県環境財団様をお迎えしております。また、後ほど当協会のOBの方々も出席される予定となっております。協会を代表して厚く御礼を申し上げます。

さて、本年4月をもって、ダイオキシン等いわゆる極微量物質についての特定計量証明事業者制度が実質的にスタートしました。千葉県においてもすでに8機関で認定取得が行われています。また、2月15日に施行された土壤汚染対策法による指定調査機関の登録も会員10数社で完了しております。今後もPRTR法による化学物質についての、リスクコミュニケーションやシックハウスに関連した新規規制項目への対応等、環境問題、微量の化学物質管理に関連した測定・評価のニーズが益々増えてくると予想されます。今後もこれらの動きに迅速に対応するため、協会としてのネットワークを十分活用して活動を活発にしていきたいと考えております。

当協会も昨年4月の通常総会におきまして役員改選が行われ、私を含めて新しい理事が5名就任しいろいろな活動を行ってまいりました。皆様のご支援により会長の大役を拝命した私にとりましては、あっという間に過ぎた1年でしたが、理事全体のメンバーも若返ると共に、会員各社の多大なご協力により何とか1年間務めることができました。最近では、近隣の都県単から、千環協は大変活発な活動を展開しているとの評価をいただいております。これも歴代役員の方々のご尽力と、協会活動に対しての会員各社のご理解、ご協力の賜物であると認識しております。

本日はこれより協会規定に基づき第27回の通常総会を開催いたします。昨年1年間の活動報告、収支決算、また本年度の事業計画及び予算案につきましてご審議いただく予定です。出席されている会員の皆様からも、協会活動に対してよりご理解いただきたく、忌憚のないご意見をお願いいたします。

以上甚だ簡単でございますが、開会の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

1-2. 平成15年度（第27回）通常総会報告

千葉県環境計量協会

1. 開催年月日：平成15年 4月18日（金）15:00～16:30
2. 場 所：プラザ菜の花
3. 出席会員：32社（委任状14社） 計46社
4. 会長挨拶：千葉県環境計量協会 津上 昌平 会長
5. 議 事：(1)第1号議案 平成14年度 事業報告の件
(2)第2号議案 平成14年度 決算報告の件
会計監査報告
(3)第4号議案 平成15年度 事業計画(案)
(4)第5号議案 平成15年度 収支予算(案)

総会は、習和産業(株)津上会長の司会で開催され、出席会員の32社、委任状提出14社、合計46社の出席で規約16条により会員数の1/2以上の出席を満たしており、総会は成立するとの宣言がされた。

- (1) 第1号議案及び第2号議案について、中外テクノス(株)藤谷副会長より説明後、会計監査報告を日建環境テクノス(株)丸山監事より審査報告があり、全会一致で承認された。
- (2) 第3号議案及び第4号議案について、(株)ダイワ菅谷副会長より説明後、全会一致で承認された。
- (3) 特別表彰
本総会をもって住化分析センター(株)：蛭子聡氏が役員を退任されるにあたり、多大の貢献に対して、特別表彰された。

平成15年度の役員は、本総会をもって技術委員長の蛭子理事（住化分析センター(株)）の退任により廣野理事（住化分析センター(株)）の就任が承認された。その他の役員は留任することに決定された。

会 長：津上昌平氏（習和産業(株)）
副 会 長：藤谷光男氏（中外テクノス(株)）
副 会 長：菅谷光夫氏（(株)ダイワ）
総務委員長：石澤善博氏（日本軽金属(株)）
業務委員長：飯島公勇氏（キッコーマン(株)）

企画委員長：内野洋之氏（株新日化環境エンジニアリング）

技術委員長：廣野耕一氏（株住化分析センター）


広報委員長：田中孝一氏（株環境管理センター）


監 事：丸山孝彦氏（日建環境テクノス株）

監 事：福田文二郎氏（川鉄テクノリサーチ株）

以上の内容を全て承認のうえ、第27回通常総会が終了した。

以上の議事記載事項が正確であることを証明します。

(株) ダイワ
署名人 伊藤 祐一 

日本環境(株)
署名人 宮本 敦夫 

1-3 平成15年度事業計画

21世紀は環境の世紀ともいわれており、環境問題への取り組みが企業の成績を左右する等、益々その拡がりを見せてきております。そして、どのような施策を取るにしても、まずは現状の正確な計量がその基礎となり、我々が日々提供している環境計量証明データが、大変重要な役割を担っていることとなります。そして、本年4月1日からはダイオキシン類などいわゆる極微量物質についての特定計量証明事業者制度が実質的にスタートする他、2月15日に施行された土壌汚染対策法においても、土壌調査に係る分析については、計量証明登録事業所にて実施することが、明記されており、今後もこれらの新しいニーズにいち早く対応していく必要があります。我々業界団体と致しましても、より一層の分析技術の向上、分析精度の確保に努力致したいと考えます。このような背景から、次のような事業を行い、会員各社の発展に寄与致したいと思っております。

1. 研修会・講演会等の実施
技術の習得や、知識の向上を図るため、研修見学会、講演会等を実施する。
2. ワーキンググループ成果発表会・技術事例発表会の実施
技術委員会の下に、計量管理、クロスチェック等のワーキンググループ活動を行い、その研究成果を発表するとともに、会員による測定分析技術事例の発表会を実施する。
3. 共同実験とパネルディスカッションの実施
会員相互の技術レベルの向上を図るため、共通試料を用いたクロスチェックを行い、その結果を基に、パネルディスカッションを実施する。
4. 情報の収集と提供
官公庁、日環協、首都圏環協連等から関連情報の収集に努め、研修会、会誌等を通じて会員に提供する。
5. 経営問題懇談会
新任者教育、経営に関する勉強会等を、適宜開催する。
6. 協力関係
千葉県計量協会、日環協関東支部、首都圏環協連等の各事業に参画し、技術情報等を収集する。
7. 親睦関係
会員相互の親睦を深めるため、ソフトボール大会等の催しを行う。

2. 平成15年度役員紹介



会 長：津上 昌平
(習和産業(株))

昭和31年6月27日 長崎県生まれ

—趣味・特技—

旅行(街歩き、食べ歩き、飲み歩き)、音楽鑑賞、
楽器演奏(トロンボーン)。野球は阪神タイガースファン

—千環協活動に対する抱負—

伝統ある千環協の会長に就任して2年目となりました。

本年度も関係各位、会員の皆様方の協会活動への
さらなるご理解、ご協力をよろしくお願いいたしま
す。



副 会 長：菅谷 光夫
(株ダイワ)

昭和32年5月15日 千葉県生まれ

—趣味・特技—

ゴルフ・カラオケ(特にカラオケはムード歌謡専攻)

—千環協活動に対する抱負—

副会長として会長をサポートするとともに経営問
題懇談会の委員長として新任者研修等で協会会員の
教育にあたっています。また、広報、企画の管掌副会
長として千環協会員の皆様にお役に立てるよう関係
団体と協力しながら充実した会の運営にあたりたい
と考えております。



副 会 長：藤谷 光男
(中外テクノス(株))

昭和23年7月24日 山口県生まれ

—趣味・特技—

ゴルフ・野球

—千環協活動に対する抱負—

5月の合同委員会での活動方針・計画発表を基に、
今年度もキックオフしました。各委員の皆様におかれ
ては日々ご努力されていることと思います。

小生も副会長を仰せつかり2年目となりました。ま
だまだ不安な点もありますが、合同委員会の活動方
針・計画の成果が11月に発表できるよう各委員会の
協力をしていきたいと思ひます。



総務委員長：石澤 善博
(日本軽金属(株) 船橋分析センター)

昭和20年12月23日 福島県生まれ

—趣味・特技—

ゴルフ・釣り(川釣り)

—千環協活動に対する抱負—

今年総務委員をはずかり2年目となります。今年も
会員各位の懇親を主とした活動を行います。

活動は年2回のゴルフ大会及びソフトボール大会、
新春講演会の開催などがおもな活動です。

会員各位には多数参加していただき、より一層懇親
を深めてください。参加をお待ちしております。



業務委員長：飯島 公勇
(キックコーマン(株) 分析センター)

昭和25年7月10日 千葉県生まれ

一趣味・特技一

ゴルフ・スポーツ観戦・映画鑑賞(洋画)

一千環協活動に対する抱負一

業務委員会としては、「千環協案内」の作成及び発行に向けて活動していきます。本年は、会員ガイドを盛り込んだ内容のある「千環協案内」としていきますので、事業活動に有効活用して頂ければと思います。又、千環協会員の有意義な活動が出来るよう務めていきます。



企画委員長：内野 洋之
(株新日化環境エンジニアリング)

昭和29年8月4日 長崎県生まれ

一趣味・特技一

ゴルフもカラオケも修行中。ワンカップ片手に釣り糸をたれるのが趣味。

一千環協活動に対する抱負一

理事2年目で研修見学会、パネルディスカッションを担当しております。皆さんの意見を聞いて、一人でも多くのかたに参加していただけるよう努力します。ご協力お願いします。



広報委員長：吉本 優
(株環境管理センター)

昭和31年6月1日 福岡県生まれ

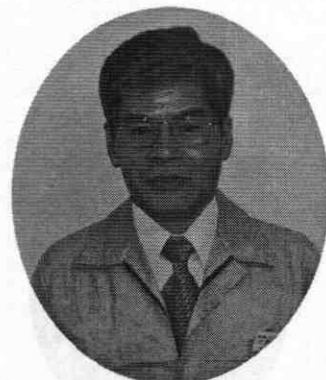
一趣味・特技一

登山(もう何年も本格的な山行きはやれていない)、映画鑑賞、パソコン、読書

一千環協活動に対する抱負一

4月の通常総会において田中が役員に選任されましたが、急遽5月に埼玉への異動となりました。このため、5月の理事会において引継ぎを承認されましたので、ここに記載させていただきます。

初めての千葉県への単身赴任で千環協広報委員長をおおせつかり、不慣れな点でいろいろとご迷惑をおかけすると思いますが、有意義な千環協ニュースの提供に務めていきたいと考えています。



技術委員長：廣野 耕一
(株住化分析センター 千葉事業所)

昭和22年3月20日 徳島県生まれ

一趣味・特技一

釣り(釣具が錆付くほどご無沙汰ですが)
旅行(主に考えるだけ)

一千環協活動に対する抱負一

今期、技術委員会担当理事の大役をお引き受けすることになりました。千環協の活動にかかわるのは始めてですが、前理事との引き継ぎや、合同委員会に参加し、あらためて活動内容のすばらしさに驚かされています。会員皆様のご協力と支援を頂きながら、少しでもお役に立ちたいと思います。

3. 平成15年度 合同委員会（平成15年5月15日）

3-1 会長挨拶

千葉県環境計量協会
会長 津上 昌平



只今、ご紹介いただきました、当協会の会長を務めさせていただいております、習和産業株式会社の津上昌平と申します。よろしくお願いたします。

千環協の本年度協会活動の実質的なスタートとなります、本日の合同委員会の開会に当り一言ご挨拶申し上げます。

本日はお忙しい中、多数の会員の方々にお集まりいただき、誠にありがとうございます。後ほど、来賓としまして本協会の顧問をお願いしております、日環協の岡崎様もご出席いただく予定となっております。

さて、本年度の当協会の役員については、4月の通常総会におきまして、技術委員長が住化分析センターの蛭子様から、廣野様にバトンタッチしていただきましたが、本日の理事会におきまして、広報委員長につきましても、環境管理センターの田中様から吉本様へ引き継いでいただくことが、決定いたしました。後ほど退任、新任の役員の方々にご挨拶をいただきたいと思っております。本年度当協会も一部新任の理事をお迎えし、まさに新しいスタートを切ったばかりでございます。今後の協会活動により以上にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

千環協も今年で設立以来27年目を迎えましたが、会員の皆様のお陰によりまして大変活発な活動を展開しております。日環協をはじめ全国や近隣の協議会からも、そのユニークな活動について高い評価をいただいております。

本日これより開催されます合同委員会は、千環協の活動のもっともベースとなる各委員会、WGの1年間の活動計画について審議いただく、大変重要な会議でございます。各委員長、WGのリーダーの方には何かとご苦勞をおかけいたしますが、総会にて承認されました事業計画を基に、お集まりいただいた各会員の方々とも十分に議論を尽くしていただき、より充実した今年度の計画を立てていただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

以上甚だ簡単でございますが、開会の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

3-2 通達事項 ー計量証明対象項目の確認についてー

千葉県環境計量協会

会長 津上 昌平

“計量証明書として発行の出来る”対象項目と“計量証明書としては発行出来ない”対象外の項目について、本年4月に出された通知を基に千葉県計量検定所 指導課様にて再度確認を行いました。会員各位におかれましては、下表ご参照のうえ、適切なる対応をお願い致します。

注) ○：計量証明として発行できる項目 ×：計量証明として発行できない項目

大分類	項目名	対 象	計量証明 対 象	
水 質	水質環境	河川水	河川水	○
		湖沼水	湖沼水	○
		海水	海水	○
		地下水	地下水、井戸水、湧水、処分場等観測井水	○
	水質発生源	排水	工場排水（公共用水域へ放流）	○
		工程水	工場用水(原水)、一次処理水等工程水	○
		下水	工場排水（下水道へ放流）、下水道接続点等下水	○
	水質その他	飲料水	水道水、井戸水	×
		水質試験その他	試験水等の成分含有量測定（水道水、温泉水等）	×
飲料包装材関連溶出試験		JWWA（日本水道協会）等の原材料（シール材）溶出	×	
大 気	大気環境	環境大気	環境大気	○
		環境大気（自動計器）	自動計器による環境大気	○
		環境大気（簡易測定）	アルカリろ紙（ガスパック）等による環境大気	○
		降下煤塵	降下煤塵測定による環境大気	○
	煙道	煙道	焼却炉、ボイラー等の煙道施設排出ガス	○
		煙道（工程）	焼却炉出口、電機集塵機入口等工程中のガス	×
	ガス （臭気系）	大気排出口	排出口等における悪臭物質濃度	○
		臭気環境	敷地境界線、環境における悪臭物質濃度	○
		ガス測定（工程）	原臭、脱臭施設入口等工程中のガス物質濃度	×
		ガス測定その他	地下ガス等の上記以外の大気排出箇所におけるガス物質濃度	○
	気象調査	気象調査	風向・風速・温度・湿度・日射量・放射熱量	×
騒 音・ 振 動	騒音調査	環境騒音	環境騒音	○
		特定事業場騒音	特定事業場（発生源、場内、敷地境界線）騒音	○
		特定建設作業騒音	特定建設作業（発生源、場内、敷地境界線）騒音	○
		自動車騒音	自動車等の道路交通騒音	○
		航空機騒音	航空機に係る騒音	○
		新幹線鉄道騒音	新幹線に係る騒音	○
	振動調査	環境振動	環境振動	○
		特定事業場振動	特定事業場（発生源、場内、敷地境界線）振動	○
		特定建設作業振動	特定建設作業（発生源、場内、敷地境界線）振動	○
		道路交通振動	自動車等の道路交通振動	○
		航空機振動	航空機に係る振動	○
		新幹線鉄道振動	新幹線に係る振動	○
固 形 質	廃棄物	廃棄物溶出試験	陸上埋め立てを行う汚泥、ゴミ、建設残土、浚渫土等廃棄物の溶出試験	×
		廃棄物含有試験	陸上埋め立てを行う汚泥、ゴミ、建設残土、浚渫土等廃棄物の含有量試験	×
		廃酸・廃アルカリ分析	海洋投棄処分を行う廃酸・廃アルカリの含有量試験	×
		海洋投入廃棄物溶出試験	海洋投棄処分を行う有機汚泥等の溶出試験	×
	肥料	肥料溶出試験	肥料の溶出試験	×
		肥料含有試験	肥料の組成量試験を含む含有量試験	×
	土壌	土壌溶出試験	土壌の溶出試験	○
		土壌含有試験	土壌の成分量試験を含む含有量試験	○
		土壌表層ガス測定	表層ガス中の揮発性物質測定	○
	底質	底質溶出試験	底質の溶出試験	○
		底質含有試験	底質の含有量試験	○
	生体	生体中の成分	生体中の成分等の試験	×
	ごみ質・ 焼却灰	ごみ質分析	ゴミの性状分析及び組織成分の測定	×
		焼却灰組成分析	焼却灰の性状分析及び組成成分の測定	×

3-3 担当委員一覧及び委員会別活動計画

1. 総務委員会

	氏名	事業所名
委員長	石澤 善博	日本軽金属㈱
委員	川口 弘樹	中外テクノス㈱
〃	山本 重俊	㈱環境管理センター
〃	守 久雄	環境エンジニアリング㈱
〃	宮本 敦夫	日本環境㈱
〃	伊藤 裕一	㈱ダイワ

予定月日	活動名	活動内容
5月30日	第37回ゴルフコンペ	ニュー南総ゴルフ倶楽部, 優勝: ㈱住化分析センター 神野氏
11月16日	第21回ソフトボール大会	川崎製鉄㈱ 健保グラウンド
10月~11月	第38回ゴルフコンペ	
1月下旬	第22回新春講演会・賀詞交換会	

2. 業務委員会

	氏名	事業所名
委員長	飯島 公勇	キッコーマン㈱
委員	山田 幸男	㈱日本公害管理センター
〃	斉藤 充	日本廃水技研㈱
〃	鈴木 信久	中外テクノス㈱

予定月日	活動名	活動内容
5月15日	平成15年度合同委員会	
6月	千環協ガイド発行	原稿作成依頼・会員名簿確認
7月		原稿回収
8~9月		原稿編集・校正・印刷・製本
10月下旬		千環協ガイド発送

3. 企画委員会

	氏名	事業所名
委員長	内野 洋之	㈱新日化環境エンジニアリング
委員	飯塚 嘉久	(有)ユーベック
〃	永田 耕一	㈱環境管理センター
〃	原田 信幸	日立プラントサービス㈱
〃	高畠 正温	㈱三造試験センター
〃	諏訪部 義信	出光興産㈱

予定月日	活動名	活動内容
9月5日	研修見学会	首都圏環境計量協議会連絡会と合同で実施
11月	PD&技術講演会	PD: 技術員会の活動を受け実施 技術講演会: 精度管理等を予定

4. 広報委員会

	氏名	事業所名
委員長	吉本 優 ^(※)	(株)環境管理センター
委員	吉野 昭仁	習和産業(株)
〃	伊藤 浩征	(株)住化分析センター
〃	熊田 博	クリタ分析センター(株)
〃	結城 清崇	ヨシザワ(株)
〃	太鼓地 洋昭	イカリ消毒(株)
〃	斉藤 健	中外テクノス(株)
〃	安村 弘人	ニッカウキスキー(株)

※広報委員長にあつては、5月15日の理事会により田中氏より吉本氏に変更

予定月日	活動名	活動内容
6月中旬	第1回編集会議	構成案作成
7月中旬	第2回編集会議	掲載記事の取りまとめ・校正
7月下旬	会誌発行	No.67印刷・発行
10月上旬	第3回編集会議	構成案作成
11月中旬	第4回編集会議	掲載記事の取りまとめ・校正
12月下旬	会誌発行	No.68印刷・発行
1月上旬	第5回編集会議	構成案作成
2月中旬	第6回編集会議	掲載記事の取りまとめ・校正
3月下旬	会誌発行	No.69印刷・発行
千環協ニュース発行部数 各号 347部		

5. 技術委員会

	氏名	事業所名
委員長	廣野 耕一	(株)住化分析センター

5-1. 精度管理ワーキンググループ

	氏名	事業所名
リーダー	松尾 肇	(株)環境管理センター
委員	永友 康浩	(株)環境コントロールセンター
〃	浜田 康雄	(株)上総環境調査センター
〃	大塚 敬嗣	(株)新日化環境エンジニアリング
〃	谷口 克則	習和産業(株)

予定月日	活動名	活動内容
平成15年度活動テーマ：「精度管理統一化の推進(5期)」		
平成15年度の活動内容：「具体的精度管理手法(その2)測定技術/ソフトウェア計画と手法」		
6月中旬	第1回WG	開催演題の抽出～アンケート募集の有無
7月中旬	第2回WG	研修会の構成決定
8月中旬	第3回WG	会場設定および進行計画
9月上旬	第4回WG	最終調整
9月中旬	研修会開催	
10月	第5回WG	報告書構成会議
11月	事例発表会	WG活動報告

5-2.計量管理ワーキンググループ

	氏名	事業所名
リーダー	吉田 常夫	環境エンジニアリング(株)
委員	佐々木 昭平	(株)杉田製線
〃	酒井 裕介	日建環境テクノス(株)
〃	荒木 徹	セイコーアイ・テクノリサーチ(株)

予定月日	活動名	活動内容
平成 15 年度活動テーマ：「計量管理の題点」		
第 1 回 W G		アンケート原案作成
第 2 回 W G		アンケート集計結果の検討
第 3 回 W G		問題点とその解決策等の討議
第 4 回 W G		結果まとめ

5-3.クロスチェックワーキンググループ

	氏名	事業所名
リーダー	片岡 正治	日立プラント建設サービス(株)
委員	白須 研一	(株)クリタス
〃	菅野 一也	(株)住化分析センター
〃	田中 裕治	中外テクノス(株)
〃	大野 節夫	日廣産業(株)

予定月日	活動名	活動内容
平成 15 年度活動テーマ：「底質を土壌（土壌汚染対策法による含有量分析）として Pb、Pb 以外、全リン」のうちからクロスチェックを行う。		
5月下旬	第1回WG	測定項目決定
6月上旬		クロスチェックのお知らせ配布
7月中旬	第2回WG	実施要領・共通測定試料配布
8月中旬	第3回WG	測定結果報告
10月下旬	第4回WG	測定結果解析まとめ
11月7日	成果発表会	発表

6. 経営問題懇談会ワーキンググループ

	氏名	事業所名
委員長	菅谷 光夫	(株)ダイワ
リーダー	岡野 隆志	川鉄テクノリサーチ(株)
委員	渡辺 勝明	住友金属鉱山(株)
〃	津上 昌平	習和産業(株)
〃	川岸 決男	(株)東京化学分析センター
〃	松倉 達夫	(株)日本公害管理センター
〃	小林 茂広	住友大阪セメント(株)
〃	鈴木 健一	(株)環境測定センター
〃	山崎 剛	(株)環境測定センター

予定月日	活動名	活動内容
7月9日	新任者研修	場所：プラザ菜の花 時間：10:00～16:00 講師(予定)岡野氏(川鉄テクノリサーチ(株))「環境計量の仕事とは、安全・衛生」・北村哲(日環協)「精度よい測定のために」
6月下旬～7月上旬	経営問題懇談会	アンケートの実施(土壌汚染対策法、MLAP)
10月	経営問題懇談会	環境計量の新規法的な対応、経営に関する問題

4. 理事会報告

第 153 回

日 時：平成 15 年 5 月 15 日 10:00～12:00

場 所：プラザ菜の花

出席者：津上会長，菅谷副会長，藤谷副会長，石澤理事，飯島理事，内野理事，廣野理事，田中理事，吉本氏，蛭子氏

1. 特別議案

田中孝一氏（株環境管理センター）の退任に伴い、後任理事（広報委員長）を吉本優氏（株環境管理センター）とすることを理事会一致で承認。

2. 報告事項

2-1. 第 1 回 首都圏環境協議会連絡会（平成 15 年 4 月 23 日）

出席者：津上，菅谷，藤谷，内野

(1) 各県単報告

2-2. 千葉県計量協会 理事会（平成 15 年 4 月 18 日）

出席者：津上

(1) 平成 15 年度事業計画の件

2-3. 千環協平成 15 年度行事と役割分担

2-4. 平成 14 年度決算と平成 15 年度予算執行状況

2-5. 平成 15 年度合同委員会の件

2-6. 計量証明対象項目の確認の件

第 154 回

日 時：平成 15 年 7 月 18 日 16:00～18:00

場 所：日立習志野クラブ

出席者：津上会長，菅谷副会長，藤谷副会長，石澤理事，飯島理事，内野理事，廣野理事，吉本理事

1. 報告事項

1-1. 日環協 関東支部定例役員会（平成 15 年 5 月 27 日）

出席者：津上

(1) 平成 14 年度事業報告及び平成 15 年度事業計画説明

(2) 新任者教育，技術者基礎教育の件

(3) 環境セミナーの件（平成 15 年 10 月 2-3 日）

1-2. 千葉県計量協会 理事会 通常総会（平成 15 年 6 月 18 日）

出席者：津上

(1) 平成 14 年度事業報告及び平成 15 年度事業計画承認

(2) 関東甲信越連絡協議会の件（平成 15 年 10 月 2-3 日）

1-3. 第 2 回 首都圏環境協議会連絡会（平成 15 年 6 月 18 日）

出席者：菅谷，藤谷，内野

(1) 各県単報告

(2) 研修会の件（平成 15 年 9 月 5 日）

1-4. 各委員会の活動の進捗

1-5. 首都圏環境計量協議会・千葉県環境計量協会合同研修見学会の件

1-6. 第 155 回拡大理事会の件

5. 第37回 千環協ゴルフコンペ

伝統ある千環協ゴルフコンペも今回で37回目の開催となりました。今回は35回大会でもまわりました名門コースのニュー南総ゴルフ倶楽部で、五月晴れの絶好のゴルフ日和の中、5月30日に行われました。

今回は総勢12名と、いつもより若干参加者が少なかったにもかかわらず、内容の濃い、白熱した戦いが見られました。

その中での栄えある優勝杯は、35回大会で接戦の末準優勝だった神野さん(㈱住化分析センター)が1年越しの雪辱を果たし、見事優勝を手中に収めました。準優勝には僅差で破れた飯島さん(キックマン㈱)が入り、3位・4位には菅谷さん、伊藤さん(共に㈱ダイワ)と続きました。初参加の小見川さん((財)千葉県環境財団)も5位と健闘しました。

Rank	Name	Out	In	Gross	Hdcp	Net
優勝	神野 基行 (㈱住化分析センター)	47	43	90	15.6	74.4
準優勝	飯島 公勇 (キックマン㈱)	48	43	91	15.6	75.4
3位	菅谷 光夫 (㈱ダイワ)	49	49	98	21.6	76.4
4位	伊藤 裕一 (㈱ダイワ)	46	45	91	13.2	77.8
5位	小見川 健 ((財)千葉県環境財団)	54	55	109	28.8	80.2



第37回千環協ゴルフコンペに優勝して

(株)住化分析センター
神野基行



鶯の鳴く清々しい環境の中にも何とも言えない緊張感のあるアウト一番でのドライバーによるティーショット。フェアウェイに届かず深いラフでストップ。100ヤード足らずのナイスショット!でのスタート。不安に駆られながらも何とかアウトのハーフを47のスコアで上がり、後半のインは5ホールをパーで上がる上出来の43であった。

ドライバーショットの素晴らしいユーベックの飯塚さん、直向きに真摯にゴルフに取り組む中外テクノスの斉藤さんと一緒にラウンドさせて戴き、学ぶ事が沢山ありました。また、ハンディーにも恵まれ、幸運にも優勝できましたのは、参加された皆さんとの和気藹々の雰囲気でのプレー、触れ合いがあったればこそと感謝しております。

優勝の副賞として戴いたキャディーバッグ（ゴルフ場より提供）は、丁度、買い替え時であったので非常にラッキーな賞品で喜んでおります。

最近、若干、参加人数が少ないような気がしますが、千環協会員のコミュニケーションを図る場として、このコンペが盛大に実施できるよう次回、秋のコンペの幹事の一人としてより多くの方々の参加をお願いします。

最後になりましたが、幹事さんにお礼を述べ、優勝の感想とします。有り難うございました。

千環協ゴルフコンペに参加して

財団法人 千葉県環境財団

小見川 健

千環協の役員の方より5月30日開催のゴルフの御誘いを受けた時点では、ありがたいという気持ちと、今ひとつ前向きな気持ちになれなかったので即答は避けました。

それは日頃、あまりゴルフの機会も無く、参加する事で皆様に御迷惑をお掛けするのではないかとの不安があったからです。しかし、結果的に参加して大変良かったと思っています。

当日の天候も良く、メンバーにも恵まれ、スコアーは私としてはまあまあで、一日楽しく愉快地に過ごせました。

私のゴルフ観は兎に角楽しくやる事。失敗しても成功しても次をまた頑張る事、18番ホールで終わりではない。仕事も頑張る精神で行きたいと思っています。

また機会がありましたら千環協の会員の皆様とプレーが出来る事を楽しみにしております。

6. 平成 15 年度 新任者教育講座

平成 15 年 7 月 9 日、日環協との共催で下記内容の新任者教育講座が開催されました。今期は、13社20名の参加者でした。

場所：プラザ菜の花

時間：9：30～16：00

- ① 環境計量の仕事とは ((社) 日本環境測定分析協会 北村 哲 氏)
- ② 安全・衛生 ((社) 日本環境測定分析協会 北村 哲 氏)
- ③ 正しい測定のために (川鉄テクノリサーチ (株) 岡野 隆志 氏)

No.	氏 名	事業所名	No.	氏 名	事業所名
1	長尾悦子	旭硝子(株)	11	古矢光男	キッコーマン(株)
2	柳田和則	イカリ消毒(株)技術研究所	12	太田和憲義	合同資源産業(株)
3	永田紗綾子	イカリ消毒(株)技術研究所	13	高橋孝史	(株)住化分析センター
4	山崎首春	(株)上総環境調査センター	14	羽鳥陽介	(株)住化分析センター
5	竹崎誠	(株)上総環境調査センター	15	酒井秀幸	成和産業(株)
6	五味明子	(株)上総環境調査センター	16	齊藤由美	(株)ダイワ千葉支店
7	都澤美紀	(株)上総環境調査センター	17	山本恵右	(株)ダイワ千葉支店
8	小西亮輔	(株)環境管理センター	18	並木裕一	中外テクノス(株)
9	松岡輝樹	(株)環境管理センター	19	泉水康秀	(株)東京化学分析センター
10	相田壘	(株)環境コントロールセンター	20	幸田亘道	(株)日本公害管理センター

平成 15 年度新任者教育講座を終えて

イカリ消毒㈱ 技術研究所
柳田 和則



私は、平成15年7月9日に行われた社団法人 日本環境測定分析協会と千葉県環境計量協会の共同主催である新任者教育講座に参加しました。

午前中は、(社)日本環境測定分析協会の業務部長である北村氏による環境計量の仕事について、又、事業者の安全衛生についての義務、サンプリングにおける安全・衛生面での講演がありました。中でも今では環境問題で、水質、大気、土壌の各分析が注目されているが、一昔前は公害が起きても環境面での配慮がなされていなかったということには衝撃を感じました。また、私にとってあまり経験のないサンプリングについての内容は、とても印象深いものになりました。

午後は、川鉄テクノリサーチ(株)営業企画部 営業企画室 課長 岡野氏の講演がありました。テーマは、「精度良い測定のために」ということで分析の仕事に携わる私にとって非常に興味のそそられる話でありました。分析でよく用いる単位の話や誤差の話など細かい内容もあり、知識を再認識することができました。分析者として最低限身につけなくてはいけないことや分析を行う上での留意点などの説明もあり内容も充実していました。さらに、日々の仕事で軽視しがちな検量線をしっかりと作成することやブランク値の大切さという内容は私にとって考えさせられる内容でした。

私は、この新任者教育講座を通して、環境分析に対しての意識が変わったような気がしました。それは、ただ分析を行うだけではなく、自分自身で考えながら分析を行い、さらに正確さを身につけていく必要性を感じました。これからもこの新任者教育講座で学んだことを活かして自分自身精一杯努力していきたいと思いました。

最後に、このように貴重な研修会の場を与えてくださった関係者の方々に心より感謝申し上げます。どうもありがとうございました。

平成 15 年度新任者教育講座を終えて

株式会社 ダイワ千葉支店
環境分析部 齊藤由美



私は、昨年9月の途中入社ということもあり、もう仕事に就いて10ヶ月ほど経過していて、だいぶ仕事にも慣れ最初の頃に比べると多少、緊張感が薄らいできていたと思います。

実際、今私が仕事で使用している薬品も危険なものがたくさんありますが幸い、今までそれらの薬品などで怪我をしたりということがなかったので、あらためて労働災害の状況などを聞くと仕事に怪我をする人が多く常に危険と隣り合わせだということを再認識することができ、これからは今まで以上に慎重に業務にあたりたいと思いました。

午後の精度よい測定のための講義では、いくら分析機器が高感度化し極微量な定量分析ができるようになったからといって、サンプリング時や分析操作中にコンタミネーションしてしまえば意味がなく、やはり環境分析に携わる私達の技術の向上がなによりも不可欠だと思いました。

その他の話でも本講座を聞き参考になる話がたくさんありました。もう一度もらったテキストを読み返し日々の業務に役立てたいと思います。

最後に、本講座を開いてくださった関係者および講師の方に心より感謝いたします。

7. リオの地球環境サミットスピーチから

（株）環境管理センター
延満 麻衣

様々な環境問題を千一さん一家の赤裸々な会話の中で掘り下げてきた“千一さんコーナー”。

今回は、千一さんの奥様の量子さんが本屋で見つけた一冊の本を取り上げます。この本は、1992年6月11日にブラジルのリオ・デ・ジャネイロで開かれた国連の地球環境サミットでの12歳のカナダ人少女のスピーチについて書かれたものです。「リオの伝説のスピーチ」。ご存知の方もいらっしゃることでしょう。

量子さんはこの本を家族にぜひ読んで欲しいと思いました。今、千一さんの息子の計一くんが読んでいるところです。

本の中のスピーチ内容を、ここに載せます。みなさんも計一くんと一緒に読んではいかがですか。

（スピーチ）

こんにちは、セヴァン・スズキです。エコを代表してお話しします。

エコというのは、子ども環境運動（エンヴァイロンメンタル・チルドレンズ・オーガニゼーション）の略です。カナダの12歳から13歳の子どもたちの集まりで、今の世界を変えるためにがんばっています。

あなたたち大人のみなさんにも、ぜひ生き方を変えていただくようお願いするために、自分たちで費用をためて、カナダからブラジルまで1万キロの旅をしてきました。

今日の私の話には、ウラもオモテもありません。

なぜって、私が環境運動をしているのは、私自身の未来のため。自分の未来を失うことは、選挙で負けたり、株で損したりするのはわけがちがうんですから。

私がここに立って話をしているのは、未来の生きる子どもたちのためです。

世界中の飢えに苦しむ子どもたちのためです。

そして、もう行くところもなく、死に絶えようとしている無数の動物たちのためです。

太陽のもとにでるのが、私はこわい。オゾン層に穴があいたから。

呼吸をすることさえこわい。空気にどんな毒が入っているかもしれないから。

父とよくバンクーバーで釣りをしたものです。数年前に、体中ガンでおかされた魚に出会うまで。

そして今、動物や植物たちが毎日のように絶滅していくのを、私たちは耳にします。それらは、もう永遠に戻ってこないんです。

私の世代には、夢があります。いつか野生の動物たちの群れや、たくさんの鳥や蝶が舞うジャングルを見ることです。

でも、私の子どもたちの世代は、もうそんな夢をもつことができなくなるのではないかと？

あなたたちは、私ぐらいの歳のときに、そんなことを心配したことがありますか。

こんな大変なことが、ものすごい勢いで起っているのに、私たち人間ときたら、まるでまだまだ余裕があるようなのんきな顔をしています。

まだ子どもの私には、この危機を救うのになにをしたらいいのかははっきりわかりません。でも、あなたたち大人にも知ってほしいんです。あなたたちもよい解決法なんてもっていないっていうことを。

オゾン層にあいた穴をどうやってふさぐのか、あなたは知らないでしょう。

死んだ川にどうやってサケを呼び戻すのか、あなたは知らないでしょう。

絶滅した動物をどうやって生き返らせるのか、あなたは知らないでしょう。

そして、今や砂漠となってしまった場所にどうやって森をよみがえらせるのか、あなたは知らないでしょう。

どうやって直すかわからないものを、こわしつづけるのはもうやめてください。

ここでは、あなたたちは政治とか企業とか団体とかの代表でしょう。あるいは、報道関係者か政治家かもしれない。

でもほんとは、あなたたちもだれかの母親であり、父親であり、姉妹であり、兄弟であり、おばであり、おじなんです。

そしてあなたたちのだれもが、だれかの子どもなんです。

私はまだ子どもですが、ここにいる私たちみんなが同じ大きな家族の一員であることを知っています。そうです 50 億以上の人間からなる大家族。いいえ、じつは 3 千万種類の生物からなる大家族です。

国境や各国の政府がどんなに私たちを分け隔てようとしても、このことは変えようがありません。

私は子どもですが、みんながこの大家族の一員であり、ひとつの目標に向けて心をひとつにして行動しなければならないことを知っています。

私は怒っています。でも、自分を見失ってはいません。

私はこわい。でも、自分の気持ちを世界中に伝えることを、私はおそれません。

私の国でのむだづかいはたいへんなものです。買っては捨て、また買っては捨てています。それでも物を浪費しつづける北の国々は、南の国々と富をわかちあおうとはしません。物がありあまっているのに、私たちは自分の富を、そのほんの少しでも手ばなすのがこわいんです。

カナダの私たちは十分な食べものと水と住まいをもつ恵まれた生活をしています。時計、自転車、コンピューター、テレビ、私たちの持っているものを数えあげたら何日もかかることでしょう。

2 日前、ここブラジルで、家のないストリートチルドレンと出会い、私たちはショックを受けました。

ひとりの子どもが私たちにこう言いました。

「ぼくが金持ちだったらなあ。もしそうなら、家のない子すべてに、食べものと、着るものと、薬と、住む場所と、やさしさと愛情をあげるのに」

家もなにもないひとりの子どもが、わかちあうことを考えているというのに、すべてを持っている私たちがこんなに欲が深いのは、いったいどうしてなのでしょう。

これらの恵まれな子どもたちが、私と同じくらいの歳だということが、私の頭をはなれません。どこに生まれついたかによって、こんなにも人生がちがってしまう。私がリオの貧民街に住む子どものひとりだったかもしれないんです。ソマリアの飢えた子どもだったかも、中東の戦争で犠牲になるか、インドで物乞いをしていたかもしれないんです。

もし戦争のために使われているお金をぜんぶ、貧しさと環境問題を解決するために使えば、この地球はすばらしい星になるでしょう。

私はまだ子どもだけどそのことを知っています。

学校で、いや、幼稚園でさえ、あなたたち大人は私たち子どもに、世のなかでどうふるまうかを教えてくれます。たとえば、争いをしないこと。話しあいでも解決すること。他人を尊重すること。ちらかしたら自分でかたづけること。ほかの生き物をむやみに傷つけないこと。わかちあうこと。そして欲ばらないこと。

ならばなぜ、あなたたちは、私たちにするなということをしているんですか。

なぜあなたたちが今こうした会議に出席しているのか、どうか忘れないでください。

そしていったいだれのためにやっているのか。それはあなたたちの子ども、つまり私たちのためです。

みなさんはこうした会議で、私たちがどんな世界に育ち生きていくのかを決めているんです。

親たちはよく「大丈夫。すべてうまくいくよ。」とって子どもたちをなぐさめるものです。あるいは、「できるだけことはしてるから。」とか、「この世の終わりじゃあるまいし。」とか。

しかし大人たちはもうこんななぐさめの言葉さえ使うことができなくなっているようです。

お聞きしますが、私たち子どもの未来を真剣に考えたことがありますか。

父はいつも私に不言実行、つまり、なにを言うかではなく、なにをするかでその人の値うちが決まる、といいます。

しかしあなたたち大人がやっていることのせいで、私たちは泣いています。

あなたたちはいつも私たちを愛しているといいます。

しかし、言わせてください。もしその言葉がほんとうなら、どうか、ほんとうだということを行動で示してください。

最後まで私の話を聞いてくださってありがとうございました。

(※)

計一：　すごいね。こんなスピーチあったんだ。この子は今どうしてるの？

千一：　彼女は子供の頃から自然が大好きで、地球を守りたいと思ったんだって。そして、大学では生物学を学び、子供の頃と同じ思いで今も活動を続けているんだって。

量子：　すごいと思うのは、彼女が思うだけでなく実行したこと。それが彼女にとってはあたりまえのこと、ということよね。

千一：　彼女のように立ち上がるのは勇気がいるけれど、環境に関わる仕事をする者として、この気持ちは忘れたくないよね。

計一：　環境は地球のみんなに関係あることだよ。

量子：　そうね。みんなの問題なのよね。

(※)　あなたが世界を変える日～12歳の少女が環境サミットで語った伝説のスピーチ
(2003年7月学陽書房)より

8. 水質基準の見直し等について

クリタ分析センター(株)
熊田 博



1. 背景

水道法第4条の規定に基づく水質基準は、昭和33年に制定されて以来、昭和35年、昭和41年、昭和53年及び平成4年にその時々の科学的知見の集積に基づき、改正が行われてきた。現在の水道水質の状況を見ると、トリハロメタンに代わる臭素酸やハロゲン化酢酸など新たな消毒副生成物に対する問題やクリプトスポリジウムなど耐塩素性の微生物による感染症の問題、さらに内分泌かく乱化学物質やダイオキシン類など新しい化学物質による問題等、より一層の水道水質管理の充実・強化が求められている。

このような状況を踏まえ、平成14年7月24日付けで厚生労働大臣より水質基準の見直し等についての諮問がなされ、専門委員会での審議を経て、平成15年4月28日付けで報告、答申された。

2. 水質基準見直し等の概要

今回の水質基準見直し等の検討内容は下記の通りである。

1) 水質基準等の全面的な見直し

- ・「水質基準項目」、「水質管理目標設定項目」、「要検討項目」、「総農薬として検討対象とする農薬の項目」の設定。
- ・水質基準は46項目から50項目へ拡大（13項目追加、9項目削減）
- ・水質基準項目の検査方法を提示
- ・水質検査のためのサンプリング・水質検査結果の評価について

2) 地域性・効率性を踏まえた水質基準の柔軟な運用

- ・地域性や浄水処理方法等を踏まえた水質検査の省略
- ・適正な水質検査の確保（水質検査計画の策定・公表）

3) 病原微生物対策の強化の検討

- ・クリプトスポリジウム等の耐塩素性病原微生物に対する措置

4) 水質検査における精度と信頼性保証の検討

- ・水質検査等の質の確保のための信頼性保証システムの導入

50項目に拡大した「水質基準に関する省令」は平成15年5月30日付けで公布され、平成16年4月1日から施行される。水質検査方法等その他については今後、政令や省令又は通知等で提示されると思われる。

3. 水質基準項目及び基準値

別表を参照下さい。

4. 現行水質基準46項目から追加した項目（13項目）

1) 大腸菌群を大腸菌に変更

2) ほう素

3) 新たな消毒副生成物（6項目）

1,4-ジオキサソ、臭素酸、クロロ酢酸、ジクロロ酢酸、トリクロロ酢酸、ホルムアルデヒド

4) アルミニウム

5) かび臭原因物質（2項目）

ジオスミン、2-メチルイソボルネオール

基準値は両者とも「0.00001mg/l以下」であるが、新しい水質基準に関する省令施行の際、現に布設されている水道により供給される水に係る基準は、平成19年3月31日までの間は、「0.00002mg/l以下」である。

6) 非イオン界面活性剤

7) 有機物の指標を過マンガン酸カリウム消費量からTOCに変更

経過措置として、平成17年3月31日までの間は、現行の「過マンガン酸カリウム消費量」とし、基準値「10mg/l以下」である。

5. 現行水質基準46項目から削減した項目（9項目）

1) 大腸菌群「前項4.の通り」

2) 水質基準とするに至らないが、水質管理上留意すべき物質として「水質管理目標設定項目」に位置づけられる項目（3項目）

1,2-ジクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、1,1,1-トリクロロエタン

3) 農薬は総農薬方式として、「水質管理目標設定項目」となり、その対象となる農薬の項目（4項目）

1,3-ジクロロプロペン、シマジン、チウラム、チオベンカルブ

4) 有機物等（過マンガン酸カリウム消費量）「前項4.の通り」

6. おわりに

今年度、水道法第20条に規定する水質検査機関の指定制度は登録制度に改められる。具体的な登録の要件等は現在提示されていないが、当然、今回改正された水質基準50項目の検査が可能なことが要件の一つであろう。わが社でも水質検査機関の登録へ向けて、検査方法の検討等、活動中である。

別表

新水質基準(50項目)

項目	基準値	新規項目
1 一般細菌	1m lの検水で形成される集落数が100以下	
2 大腸菌	検出されないこと	○
3 カドミウム及びその化合物	カドミウムの量に関して、0.01mg/l以下	
4 水銀及びその化合物	水銀の量に関して、0.0005mg/l以下	
5 セレン及びその化合物	セレンの量に関して、0.01mg/l以下	
6 鉛及びその化合物	鉛の量に関して、0.01mg/l以下	
7 ヒ素及びその化合物	ヒ素の量に関して、0.01mg/l以下	
8 六価クロム化合物	六価クロムの量に関して、0.05mg/l以下	
9 シアン化物イオン及び塩化シアン	シアンの量に関して、0.01mg/l以下	
10 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10mg/l以下	
11 ふっ素及びその化合物	ふっ素の量に関して、0.8mg/l以下	
12 ほう素及びその化合物	ほう素の量に関して、1.0mg/l以下	○
13 四塩化炭素	0.002mg/l以下	
14 1,4-ジオキサン	0.05mg/l	○
15 1,1-ジクロロエチレン	0.02mg/l	
16 シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/l	
17 ジクロロメタン	0.02mg/l	
18 テトラクロロエチレン	0.01mg/l	
19 トリクロロエチレン	0.03mg/l	
20 ベンゼン	0.01mg/l	
21 クロロ酢酸	0.02mg/l	○
22 クロロホルム	0.06mg/l	
23 ジクロロ酢酸	0.04mg/l	○
24 ジブロモクロロメタン	0.1mg/l	
25 臭素酸	0.01mg/l	○
26 総トリハロメタン	0.1mg/l	
27 トリクロロ酢酸	0.2mg/l	○
28 ブロモジクロロメタン	0.03mg/l	
29 ブロモホルム	0.09mg/l	
30 ホルムアルデヒド	0.08mg/l	○
31 亜鉛及びその化合物	亜鉛の量に関して、1.0mg/l以下	
32 アルミニウム及びその化合物	アルミニウムの量に関して、0.2mg/l以下	○
33 鉄及びその化合物	鉄の量に関して、0.3mg/l以下	
34 銅及びその化合物	銅の量に関して、1.0mg/l以下	
35 ナトリウム及びその化合物	ナトリウムの量に関して、200mg/l以下	
36 マンガン及びその化合物	マンガンの量に関して、0.05mg/l以下	
37 塩化物イオン	200mg/l以下	
38 カルシウム、マグネシウム等(硬度)	300mg/l以下	
39 蒸発残留物	500mg/l以下	

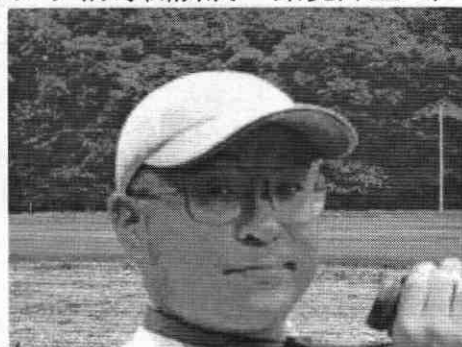
	項目	基準値	新規項目
40	陰イオン界面活性剤	0.2mg/l 以下	
41	ジェオスミン	0.00001mg/l 以下	○
42	2-メチルイソボルネオール	0.00001mg/l 以下	○
43	非イオン界面活性剤	0.02mg/l 以下	○
44	フェノール類	フェノールの量に換算して、0.005mg/l 以下	
45	有機物 (TOC)	5mg/l 以下	○
46	pH値	5.8 以上 8.6 以下	
47	味	異常でないこと	
48	臭気	異常でないこと	
49	色度	5 度以下	
50	濁度	2 度以下	

経過措置

- ・ 平成17年3月31日までの間は、No. 45の有機物 (TOC) は有機物等 (過マンガン酸カリウム消費量) と、「5mg/l」は「10mg/l」とする。
- ・ この省令の施行の際現に布設されている水道により供給される水に係るNo. 41とNo. 42の基準については平成19年3月31日までの間は、「0.00001mg/l」とあるのは「0.00002mg/l」とする。

9. 環境計量士と「先生」

ガイア・ワイルドライフ・リサーチ
清水隆行
(元イカリ消毒㈱所属 環境計量士)



「先生と呼ばれるほどの馬鹿でない」という川柳にうたわれるように、世の中には「先生」と呼ばれる職業が数多くあります。教師、医師、弁護士、代議士等々、これらの職業の人々は特殊な分野の能力を身につけた専門家として、社会に貢献し、あるいはそうなるべく選ばれた人々で、それらの専門業務はその資格を持った者しか行うことが認められません。教師、医師、代議士はかつて「聖職」と呼ばれ、その能力だけでなく人徳までもが評価され、皆から尊敬されていたがために、師弟関係にない人からも「先生」と呼ばれて来たのですが（最近では、聖職であるはずの人の反社会的な行為が数多く取りざたされていますが）、会計士や、薬剤師など「士」あるいは「師」の付く資格を以て業務を行う人々のいくらかも「先生」と皆から、特にクライアントから呼ばれているように思います。お客様であるクライアントから「先生」と呼ばれる、なんと気分の良いことでしょうか。仕事に対するやりがいも格段に違うように思います。

こういった専門業務に必須な資格は他にもたくさんあります。環境計量士もその一つですが、環境計量士の皆さんの中で、クライアントから「先生」と呼ばれたことがある方はいらっしゃいますか？環境計量士の皆さんはクライアントから、いや同僚やクライアントでない人からでも「先生」と呼ばれたことなど、おそらく一度もないのではありませんか。なぜ、彼らは「先生」と呼ばれ、同じように特殊な技術や知識を持ち、それらを活用して社会に貢献した業務を行っている私たち環境計量士はそう呼ばれないのでしょうか。（中には人間性に問題があるから、という方も？）

現在「先生」という敬称が、師弟関係を示すだけでなく、相手に敬意を表す（おだてる？）一種の「尊敬語」となっているということもあるでしょうが、ちなみに中国語では職業に関係なく、尊敬すべき目上の人には「先生」という敬

称を付けるそうです) そう呼ぶ根底には「先生」と呼ばれる人々が「先生」と呼ぶ人々に対して、問題解決や金銭等何らかの利益を与えたり誘導したりしている、つまりとても役に立っているからではないでしょうか。だから尊敬され、感謝されあるいはもてはやされているのではないのでしょうか。「先生」はそう呼ぶ人にとって、生活や日常活動に欠くべからざるものであるという強い認識、いわゆる「お世話になっております」という思いがそう呼ばせているのではないかと思うのです。

さて、ここで医療分野の「先生」のことを少し考えてみましょう。医師は病院にいて、患者の治療という業務を行っています。そして現代では、医師がその業務を全うする際に必要欠くべからざる存在として、臨床検査技師をはじめとする各種の検査技師がいます。検査技術の未発達な時代では、医師は自らの観察・経験のみで診断を下していましたが、現在では、医師は多くの検査結果を読みとって病気を診断し、治療方針を決定します。このシステムにより現代医療が正確で効果的な治療が行えるようになったことは明白です。そしてここで着目したいのは、医師・検査技師ともに患者の治療にはどちらも必要不可欠であるにもかかわらず、一方は「先生」と呼ばれ、もう一方はそう呼ばれないということです。この違いはいったい何なのでしょう。単に昔からの慣習だけとは思えません。それが証拠に「当病院では、医師・職員への謝礼、付け届けはいっさいお断りします。」という大きな張り紙がある病院で、看護師等への謝礼はしなくなっても、医師への謝礼は一向になくなってはいません。患者は医師に対しては多いに感謝の念を感じても、検査技師達には大して感謝していないのです。確かに外科などでは特に、医師の腕前が治療の良否に大きく影響することは明らかで、医師への特別な感謝の思いが湧くことも理解は出来ますが、それも術前の検査による患部の詳細・正確なデータがあつてのことであることは誰も疑わないでしょう。そしてもちろん、その検査は医師ではなく、検査技師が行うことは患者も知っています。それなのになぜ患者は検査技師より医師に感謝してしまうのでしょうか。

これは医師が、一人の患者に対する「医療チーム」のリーダー・責任者であり、どのような検査が必要かといったことを始めとして看護方法等、医療活動全般にわたる作業内容を決定し、得られた検査結果を検討して判断するという責務を果たしているからだと思うのです。検査技師は医師の指示に従い、あらかじめ決められたプロトコルに従って検査・分析を行うだけです。もちろん決められたプロトコルに従い正確な結果を得るためにはそれなりに技術・知識が要求されますが、それらは多くの場合マニュアルなどに文書化することが可能です。しかし、医師が診断を下し、治療方針を決定するために要求される技術・知識は未だすべてをマニュアル化出来ないほど複雑なものです。そして決定的な違いは、医師が患者に直接診断を伝え、治療方針を説明し、これを施すということです。患者は検査結果の数値だけを伝えられてもどうすればよいかわかりません。どこが悪くてどうすれば治るのか、これを明らかにし、アドバイスしてくれるから、そしてそれが「治癒」となって実現するから患者は医師に感

謝するのではないのでしょうか。

さて、多くの計量証明事業所では、正確な分析・計量を行い、「計量証明書」を発行することがほとんどの業務となっているでしょう。このこと自体はすでに環境の保全に大きく貢献している行為ではありますが、これだけでは未だ医療分野における「検査技師」のレベルではないのでしょうか。そして環境保全の分野には「医師」に該当する人は、数少ない環境部門技術士であり、公害防止管理者は「物理療法士」や「看護師」でしょうか。

技術士に相談を持ち込めるクライアントは一部の大企業だけで、それほど多くはないと思います。多くのクライアントである中小企業や、特に環境汚染のリスクを直接負うことが多い現地住民、個人の方々は最寄りの「環境計量・分析会社」に相談に来るのではないですか。そんなとき、計量証明書を納品して「基準適合・不適合」と告げるだけでクライアントは満足するのでしょうか。問題があればアドバイスや、環境改善技術を持つ施工業者をコーディネートして、問題の解決までそれに関わり、責任を持って将来の不安まで解消する。もちろん、問題がなくても「予防医学」のように、潜在するリスクに関してクライアントに説明し指導・管理する。こんな業務を積極的に行って、人々の健康で快適な生活を守り、あるいは健全な企業活動を支えられるようになったとき、環境計量士の社会的存在意義を人々は直接感じるようになり、その人々に環境計量士を「先生」と呼んでもらえるのではないのでしょうか。たとえ、そう呼ばれなくても、納品の際には「助かったよ。ありがとう。」とクライアントから感謝してもらえるようになって、環境計量士の業務に、もっと大きな誇りと喜びを実感することが出来るのではないのでしょうか。「取引先から感謝される」これはどんな仕事でも最も基本となる業務目標ではないのでしょうか。

10. 会 員 名 簿

会 員 名	連絡場所	連絡担当者	事業区分					備考	
			濃 度				音圧		振動・加 速度
			大気	水質	土壌	特定計量			
浅野工事 ㈱ 環境技術研究所 代表取締役社長 浅井 治	〒260-0001 千葉市中央区都町1-49-2 Tel 043-234-8628 Fax 043-234-8629	阿部 竜也		○					
旭硝子 ㈱ 千葉工場 工場長 島崎重治郎	〒290-8566 市原市五井海岸10 Tel 0436-23-3150 Fax 0436-23-3187	安全環境保安室 渋谷 英世	○	○	○				
アエスト環境 ㈱ 代表取締役 三澤 剛	〒270-2221 松戸市紙敷1-30-2 Tel 047-389-6111 Fax 047-389-3366	鈴木まり子	○	○	○				
㈱ 飯塚 環境技術研究所 代表取締役 飯塚 貴之	〒270-2221 松戸市紙敷599 Tel 047-391-1156 Fax 047-391-0110	中尾 潤一	○	○	○	○	○		
イカリ消毒 ㈱ 技術研究所 代表取締役社長 黒澤 聰樹	〒260-0844 千葉市中央区千葉寺町579 Tel 043-264-0126 Fax 043-261-0791	太鼓地洋昭	○	○	○				
出光興産 ㈱ 中央研究所 所 長 竹内 尚武	〒299-0205 袖ヶ浦市上泉1280 Tel 0438-75-2314 Fax 0438-75-7213	津村 修	○	○	○				
㈱ 荏原製作所 薬品技術第一部 部 長 横田 則夫	〒299-0267 袖ヶ浦市中袖35 Tel 0438-63-8700 Fax 0438-60-1171	主任 佐藤 克昭	○	○	○				
㈱上総環境調査センター 代表取締役 浜田 康雄	〒292-0834 木更津市潮見4-16-2 Tel 0438-36-5001 Fax 0438-36-5073	業務課長 中山 徹	○	○	○	○	○		
川鉄テクノロジー㈱ 分析・評価事業所 常務取締役 千葉事業所長 福田 文二郎	〒260-0835 千葉市中央区川崎町1 Tel 043-262-4178 Fax 043-268-5495	営業企画部 岡野 隆志	○	○	○	○	○	監 事	
(財)川村理化学研究所 理事長 前田 博	〒285-0078 佐倉市坂戸631 Tel043-498-2111(内線2210) Fax 043-498-2229	分析研究室 松本 茂		○	○				
環境エンジニアリング㈱ 取締役事業部長 重松 英男	〒292-0825 木更津市畑沢1-1-51 環境テックセンター Tel 0438-36-5911 Fax 0438-36-5914	グループリーダー 川崎 孝則	○	○	○	○	○		
㈱ 環境管理センター 東関東支社 執行役員支社長 保坂 颯紀	〒260-0833 千葉市中央区稲荷町3-4-17 Tel 043-261-1100 Fax 043-265-2412	副支社長 吉本 優	○	○	○	※	○	理 事 (広報)	
㈱ 環境コントロールセンター 代表取締役社長 松尾 大邑	〒260-0805 千葉市中央区宮崎町231-14 Tel 043-265-2261 Fax 043-261-0402	環境部 原田 和幸 永友 康浩	○	○					
㈱ 環境測定センター 代表取締役社長 小野 博利	〒262-0023 千葉市花見川区検見川町3-316-25 Tel 043-274-1031 Fax 043-274-1032	鈴木 健一	○	○	○				
キッコーマン ㈱ 分析センター 分析センター長 中野 衛一	〒278-0037 野田市野田350 Tel 04-7123-5905 Fax 04-7123-5904	飯島 公勇	○	○	○		○	理 事 (業務)	

10. 会 員 名 簿

会 員 名	連絡場所	連絡担当者	事業区分					備考	
			濃 度				音圧		振動・加 速度
			大気	水質	土壌	特定計量			
基礎地盤コンサルツ (株) 代表取締役社長 森 研二	〒102-8220 東京都千代田区九段北1-11-5 Tel 03-5276-6776 Fax 03-5210-9575	野田 典広		○	○				
(有) 若津清掃設備工業 濃度計量証明事業所 取締役社長 松尾 昭憲	〒299-0236 袖ヶ浦市横田3954 Tel 0438-75-3194 Fax 0438-75-7029	嘉数 良規		○					
(株) クリタス 千葉県環境分析センター 環境分析部長 中川 二郎	〒299-0266 袖ヶ浦市北袖1 Tel 0438-62-5494 Fax 0438-62-5494	石川 秀	※	○	○		※	※	
京葉ガス (株) 技術部長 筒井 義憲	〒272-0033 市川市市川南2-8-8 Tel 047-325-4500 Fax 047-326-1759	永塚 孝幸		○	○				
(有) ケーオエシニリング 代表取締役社長 小栗 勝	〒277-0827 柏市松葉町2-11-11 Tel 04-7133-0142 Fax 04-7133-0131	小栗 勝	○	○					
(株) ケミコート 代表取締役社長 井坂 晃	〒279-0002 浦安市北栄4-15-10 Tel 047-352-1137 Fax 047-352-2615	研究技術部 代田 和宏		○					
(株) 建設技術研究所 東京支店 水圏技術部 部 長 斎藤 廣	〒277-0843 柏市明原1-2-6 Tel 04-7144-3106 Fax 04-7144-3107	主任技師 平田 治		○	○				
興亜開発 (株) 千葉営業所 代表取締役 新井 重春	〒260-0001 千葉市中央区都町970-9 Tel 043-232-4891 Fax 043-232-7981	大武 隆博		○	○				
公害計器サービス (株) 代表取締役社長 佐藤 政敏	〒290-0042 市原市出津7-8 Tel 0436-21-4871 Fax 0436-22-1617	代表取締役 佐藤 政敏	○	○					
合同資源産業 (株) 千葉事業所 千葉事業所長 遠藤 宣哉	〒299-4333 長生郡長生村七井土1365 Tel 0475-32-1111 Fax 0475-32-1115	品質管理課 大谷 康彦	○	○	○				
(株) 三造試験センター 東部事業所 取締役所長 福壽 芳治	〒290-8601 市原市八幡海岸通1 Tel 0436-43-8931 Fax 0436-41-1256	試験部長 高島 正温	○	○	○				
(株) CTIサイエンスシステム 開発事業部長 代表取締役社長 斉藤 秀晴	〒277-0843 柏市明原1-2-6 Tel 04-7147-4830 Fax 04-7147-4891	渡辺 麻子		○	○				
(株) ジオソフト 代表取締役社長 鈴木 民夫	〒261-0012 千葉市美浜区磯辺1-2-11 Tel 043-270-1261 Fax 043-270-1815	代表取締役社長 鈴木 民夫					○	○	
習和産業 (株) 取締役社長 赤星 良治	〒275-0001 習志野市東習志野7-1-1 Tel 047-477-5300 Fax 047-477-5324	企画営業本部 津上 昌平	○	○	○		○	○	
昭和電工 (株) 千葉事業所 所 長 関 寛	〒290-0067 市原市八幡海岸通3 Tel 0436-41-5111 Fax 0436-41-3972	品質保証課 課 長 井川 洋志	○	○	○				

10. 会 員 名 簿

会 員 名	連絡場所	連絡担当者	事 業 区 分					備考	
			濃 度				畜 圧		振 動・加 速 度
			大 気	水 質	土 壌	特 定 計 量			
(財)新東京国際空港振興協会 会 長 松井 和治	〒289-1601 山武郡芝山町香山新田宇雨堤76番地 Tel 0479-78-2462 Fax 0479-78-2472	調査事業課 課 長 篠原 直明		○			○	○	
(株)新日化環境エンジニアリング 君津事業所 所 長 梶原 良史	〒292-0836 木更津市新港15-1 Tel 0438-36-6040 Fax 0438-36-2901	分析営業室長 内野 洋之	○	○	○	※	※	※	理 事 (企画)
(株) 杉田製線 市川工場 代表取締役社長 杉田 光一	〒272-0002 市川市二俣新町17 Tel 047-327-4517 Fax 047-328-6260	分析センター長 佐々木 昭平		○	○				
(株) 住化分析センター 千葉事業所 取締役所長 竹田 菊男	〒299-0266 袖ヶ浦市北袖9-1 Tel 0438-64-2281 Fax 0438-62-5089	千葉営業部 本吉 卓	○	○	○	※	※	※	理 事 (技術)
住鋳テクノロジー (株) 東京事業所 所 長 三谷 広美	〒272-0835 市川市中国分3-18-5 Tel 047-372-1110 Fax 047-371-3405	橋本 昭洋	※	○	○		※	※	
住友大阪セメント (株) セメントコンクリート研究所 環境技術センター 所 長 五十畑 達夫	〒274-0053 船橋市豊富町585 Tel 047-457-0751 Fax 047-457-7871	所 長 五十畑 達夫		○	○		○		
住友金属鉱山 (株) 中央研究所 所 長 大久保 豊和	〒272-0835 市川市中国分3-18-5 Tel 047-374-1191 Fax 047-375-0284	渡辺 勝明		○	○				
セコアイ・テクノロジー (株) 代表取締役社長 安田 和久	〒270-2222 松戸市高塚新田563 Tel 047-391-2298 Fax 047-392-3238	荒木 徹	○	○	○				
成和産業 (株) 代表取締役 入江 五左夫	〒260-0045 千葉市中央区弁天4-5-18 Tel 043-254-2211 Fax 043-254-8429	大手 和夫					○	○	
(株)総合環境分析研究所 代表取締役 高野 俊之	〒271-0067 松戸市桶野口616 Tel 047-363-4985 Fax 047-363-4985	代表取締役 高野 俊之	○	○	○				
(株) 太平洋コンサルタント 取締役研究センター長 丸田敏久	〒285-8655 佐倉市大作2-4-2 Tel 043-498-3914 Fax 043-498-3919	長浜 剛	○	○	○	○			
(株) ダイワ 千葉支店 取締役支店長 菅谷 光夫	〒283-0062 東金市家徳238-3 Tel 0475-58-5221 Fax 0475-58-5415	営業課 宮澤 康弘	○	○	○	※	※	※	副会長
妙中鉱業 (株) 総合分析センター 代表取締役社長 妙中 寛治	〒297-0033 茂原市大芝452 Tel 0475-24-0140 Fax 0475-23-6405	室 長 金井 弘和	○	○	○				
(財)千葉県環境技術センター 理事長 木内 政成	〒290-0045 市原市五井南海岸3 Tel 0436-23-2618 Fax 0436-23-2619	森尻 博		○	○				
(社)千葉県浄化槽協会 理事長 石川 長	〒260-0024 千葉市中央区中央港1-11-1 Tel 043-246-2355 Fax 043-248-6524	水質検査室長 鈴木 幸治		○					

10. 会 員 名 簿

会 員 名	連絡場所	連絡担当者	事 業 区 分						備 考
			濃 度				音 圧	振 動 ・ 加 速 度	
			大 気	水 質	土 壌	特 定 計 量			
中外テクノス ㈱ 環境技術センター 所 長 鈴木 紀雄	〒267-0056 千葉市緑区大野台2-2-16 Tel 043-295-1101 Fax 043-295-1110	営業課 鈴木 信久	○	○	○	○	○	○	副会長
月島機械 ㈱ 代表取締役社長 田原 龍二	〒272-0127 市川市塩浜1-12 Tel 047-359-1653 Fax 047-359-1663	試験課 須山 英敏	○	○	○				
東エン ㈱ 代表取締役社長 渡辺 孝雄	〒113-0034 東京都文京区湯島3-1-3MHT* Tel 03-3834-7460 Fax 03-3834-7112	環境技術次長 鈴木 倫二	○	○	○		※	※	
㈱ 東京化学分析センター 代表取締役社長 森本 薫子	〒290-0044 市原市玉前西2-1-52 Tel 0436-21-1441 Fax 0436-21-5999	技術営業部長 川岸 決男	○	○	○				
東京公害防止 ㈱ 代表取締役社長 小野 次男	〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1-8-12 Tel 03-3851-1923 Fax 03-3851-1931	代表取締役社長 小野 次男	○	○	○				
東電環境エンジニアリング ㈱ 環境技術センター 理事・所長 伊藤 金通	〒267-0056 千葉市緑区大野台2-3-6 Tel 043-295-8405 Fax 043-295-8407	青木 一雄	○	○	○		○	○	
東洋テクノ ㈱ 環境分析センター 代表取締役社長 久保田 隆	〒289-1516 山武郡松尾町田越328-1 Tel 0479-86-6636 Fax 0479-86-6624	代表取締役社長 久保田 隆	○	○	○				
㈱ 永山環境科学研究所 代表取締役社長 永山 瑞男	〒273-0123 鎌ヶ谷市南初富1-8-36 Tel 0474-45-7277 Fax 0474-45-7280	永山 貴生	○	○	○	○	○	○	
ニッカウキスキー ㈱ 環境分析センター 分析センター所長 安村 弘人	〒277-0033 柏市増尾字松山967 Tel 04-7172-5472 Fax 04-7175-0290	安村 弘人		○	○				
日建環境テクノス ㈱ 代表取締役 山田 勝芳	〒273-0045 船橋市山手1-1-1 Tel 047-435-5051 Fax 047-435-5061	取締役 丸山 孝彦		○					監 事
日廣産業 ㈱ 環境技術センター 代表取締役 野々山剛史	〒260-0826 千葉市中央区新浜1番地 Tel 043-266-1221 Fax 043-262-1220	大野 節夫		○					
㈱ 日鐵テクノリサーチ かざさ事業所 代表取締役社長 加藤 忠一	〒293-001 富津市新富20-1 新日本製鐵㈱総合技術センター内 Tel 0439-80-2692 Fax 0439-80-2730	山本 満治							
日本環境 ㈱ 千葉支店 支店長 金子 正昭	〒272-0014 市川市田尻3-4-1 Tel 047-370-2561 Fax 047-370-3050	宮本 教夫	○	○	○	※	※	※	
日本軽金属 ㈱ 船橋分析センター センター長 坂巻 博	〒274-0071 船橋市習志野4-12-2 Tel 0474-77-7646・3443 Fax 0474-78-2437	石澤 善博	○	○	○				理 事 (総務)
㈱ 日本公害管理センター 千葉支店 支店長 松倉 達夫	〒286-0134 成田市東和田348-1 Tel 0476-24-3438 Fax 0476-24-2096	山田 幸男	※	※	※		○	○	

10. 会 員 名 簿

会 員 名	連絡場所	連絡担当者	事 業 区 分						備 考
			濃 度				音 圧	振 動・加 速 度	
			大 気	水 質	土 壌	特 定 計 量			
(社)日本工業用水協会 水質分析センター 所 長 川島 範男	〒272-0023 市川市南八幡2-23-1 Tel 047-378-4560 Fax 047-378-4573	副所長 大塚 弘之		○	○				
日本廃水技研 (株) 千葉支店 代表取締役社長 荒西寿美男	〒272-0143 市川市相之川2-1-21 Tel 047-358-6016 Fax 047-357-6936	佐藤満由美		○	○				
(財)日本品質保証機構 環境計画センター千葉分析試験所 所 長 横地 哲明	〒260-0023 千葉市中央区出州港14-12 Tel 043-247-5160 Fax 043-247-5149	下野 寿夫	○	○	○	※	※	※	
(財)日本分析センター 会 長 平尾 泰男	〒263-0002 千葉市稲毛区山王町295-3 Tel 043-423-5325 Fax 043-423-5372	津田 義裕	○	○	○				
日立プラント建設サービス(株) 環境技術センタ センタ長 加藤 浩二	〒271-0064 松戸市上本郷537 Tel 047-365-3840 Fax 047-367-6921	副技師長 片岡 正治		○	○		○	○	
(株)三井化学分析センター 市原分析部長 堀内 正人	〒299-0108 市原市千種海岸3 Tel 0436-62-9490 Fax 0436-62-8294	市原分析部 安村 則美	○	○	○				
(株)三井化学分析センター 茂原分析グループリーダー 稲毛 育夫	〒297-8666 茂原市東郷1900 Tel 0475-23-8418 Fax 0475-23-8418	松崎 勝雄	○	○	○				
(有) ユーベック 代表取締役社長 飯塚 嘉久	〒292-0004 木更津市久津間613 Tel 0438-41-7878 Fax 0438-41-7878	代表取締役社長 飯塚 嘉久	○	○	○				
ヨシザワ (株) 柏研究所 代表取締役社長 原 功	〒277-0804 柏市新十倉二17-1 Tel 04-7131-4122 Fax 04-7131-4124	結城 清崇		○	○				
ライト工業 (株) 技術研究所 所 長 神澤千代志	〒274-0071 船橋市習志野4-15-6 Tel 047-464-3611 Fax 047-464-3613	飯尾 正俊		○	○				

〔賛助会員〕

(株) コスモス 千葉支店 支店長 楡井 正	〒260-0028 千葉市中央区新町18-14 千葉新町ビル7F Tel 043-248-2391 Fax 043-248-2071	北村 和子							
(株) 東海地質 代表取締役 初瀬川重雄	〒264-0025 千葉市若葉区都賀2-3-7 Tel 043-234-3611 Fax 043-234-3612	初瀬川弘美							
東京テクニカルサービス (株) 東京支店・分析センター 代表取締役 吉池 詠	〒134-0083 東京都江戸川区中葛西6-7-6 Tel 03-3688-3284 Fax 03-3877-5388	農作清次朗	※	※	※	※	※	※	

◎特定計量証明事業所登録については、5月のアンケートの各会員回答に基づき表示しています。

会員名簿の記載事項に変更が
ございましたら、都度、下記書式にて、
千環協事務局宛ファックス願います。

Fax通信

Fax: 043-265-2412

千環協:事務局御中
(株)環境管理センター 東関東支社内)

会員名簿記載事項変更連絡

会員名 : _____

担当者 : _____

今般、記載事項に変更がありましたので下記の通り連絡致します。

変更実施		年 月 日より	
項	目	変更 (変更項目のみ記載で可)	備 考
会員名	社名		
	代表者		
連絡場所	住所		
	TEL		
	FAX		
連絡担当者			
事業区分			

※ 備考 : 備考欄には、差し支えない範囲内で変更事由を記載下さい。

[事務局処理]

受付日	年 月 日	受付No.	
FAX 連絡	会 長 宛	理事会への報告:	年 月 予定
	広報委員長宛	ニュース	年 月 (No. 号) 変更予定

－ 編 集 後 記 －

暑中お見舞い申し上げます。

梅雨が明けて夏本番、“猛暑”の表現が適当な大変暑い日々が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか？ 千環協ニュース67号をお届け致します。

4月に行われた総会で平成15年度の協会事業計画も決定し、各委員会毎に今年も活発な活動を行っております。広報委員会も、吉本新委員長のもと心新たに、より親しみやすい誌面づくりを目指し頑張っていきたいと思っております。

今年度の最初の発行となりますが、特集で組んだ“水道法水質基準改正省令公布”をはじめ、恒例となった“千一さんコーナー”や活動レポート（ゴルフ・新任者研修）等、充実した内容になったのでは、と思っておりますがいかがでしょうか？ 読者の皆様からの忌憚のないご意見・感想をお待ちしております。

今後も引き続き、会誌発行を通じて、協会活動や様々な環境関連情報の発信を行っていきたく思っておりますので、担当理事をはじめ、会員の皆様にはより深いご協力をお願い申し上げます。

(執筆担当 太鼓地)

広報委員長 委員	吉本 優	(株)環境管理センター
	伊藤 浩征	(株)住化分析センター
	熊田 博	クリタ分析センター(株)
	斉藤 健	中外テクノス(株)
	太鼓地 洋昭	イカリ消毒(株)
	安村 弘人	ニッカウキスキー(株)
	結城 清崇	ヨシザワ(株)
	吉野 昭仁	習和産業(株)

千環協ニュース第67号

平成15年7月31日

発行 千葉県環境計量協会

〒260-0833 千葉市中央区稲荷町3-4-17番地
(株)環境管理センター内
TEL (043)261-1100

印刷 有限会社 千葉写真商会

〒260-0842 千葉市中央区南町3-12-7
TEL (043)265-1955
Fax (043)263-4323

